

東日本復興支援の取り組み

震災支援カンパのご協力に感謝いたします

連合群馬では東日本大震災の発生を受け、連合本部と同様に災害対策救援本部を設置し、県内における駅頭や街頭、組織内カンパなど、震災支援カンパ活動を展開してきました。11月末日をもってカンパ活動は一旦終了しましたが、12地協ならびに組合員の皆さまのご協力を得て全体で4,488,453円(12/1現在)を集約することができました。ご協力ありがとうございました。カンパ金は連合本部を通じて、被災地への支援金等に活用させていただきました。

なお、連合本部中央執行委員会において、東日本大震災救援カンパの集約状況と配分について確認されました。残金の432,717円と今後寄せられるカンパ金については、連合愛のカンパに繰り入れられることとなりました。

連合本部における集約・配分状況(10/21現在) 【カンパ金の配分】

内容	配分先	金額
義援金	岩手・宮城・福島県	(各2億円) 600,000,000円
	茨城・千葉県	(各2千万円) 40,000,000円
連合救援活動費	ボランティア 送迎バス代	35,000,000円
あしなが育英会		150,000,000円

※あしなが育英会への支援は、震災孤児への支給に活用されます。

【集約結果】

組織名	金額
構成組織	519,555,214円
地方連合会	138,526,773円
海外(労働組織等)	70,973,019円
その他	96,377,711円
総計	825,432,717円

ぐんま労福協と連携した震災復興支援

連合群馬はぐんま労福協と連携し、震災復興支援の取り組みを行いました。

11月3日～5日は、岩手県陸前高田市において、震災復旧ボランティアが行われ、連合群馬から2名が参加しました(全体で23名参加)。津波で潮をかぶった鮭の養殖場で、鮭の産卵シーズンに向けた



養殖場の清掃作業をする山端副事務局長

環境の整備として、コンクリートの壁面や床面についた汚れを除去する作業を行いました。養殖場の方から感謝され達成感を胸に帰途につきました。

12月10日～11日には、被災地視察・復興支援ツアーが行われ、1名が参加しました(全体で32名参加)。岩手県陸前高田市や宮城県気仙沼市の視察と、清掃ボランティアを実施した鮭の養殖場を見学しました。今回のツアーは現地の名産品を購入して支援することを目的に実施され、参加者は地酒や銘菓などたくさんの買い物をしました。



バスのトランクがいっぱいになるほど買い物をした参加者

勤福フェスタ開催

バザー品1800個、ほぼ完売!ご協力ありがとうございました

11月23日勤労感謝の日、連合群馬が入居する勤労福祉センターが主催する勤福フェスタが開催され、親子連れなど述べ1,000名が訪れ、バザー・体力測定・AED講習・模擬店などを楽しみました。

連合群馬は事前に産別や地協へ未使用品の提供依頼を行い、1,800個のバザー品を集約しました。当日、会場はたくさんの品物で埋め尽くされましたが、販売開始1時間ではほぼ完売となりました。

バザーの売上は141,082円となり、会場全体で集約された金額とあわせて、連合群馬東日本大震災救援カンパへ80,000円の募金、残金は上毛新聞の歳末助け合いへ寄贈されました。



来場者で溢れる↓

↑会場に埋め尽くされたバザーの品

